

葛城市の現状と課題について

1 背景

i) 本市の公共交通

○鉄道：現在2路線、主に通勤・通学など都市間の輸送を担う。

近鉄南大阪線（近鉄御所線）、JR 和歌山線

○路線バス：主に通院、買い物、通勤・通学の移動手段としての役割を担う。

奈良交通バス

○コミュニティバス等：主に市内の公共施設間の移動手段としての役割を担う。

ミニバス、葛城号、ゆうあいバス

ii) 現状

○市内における公共交通ネットワークの確保について、各交通事業者の皆様により、国及び県の補助制度なども活用しながら、現在まで維持・確保が図られてきたところですが、近年、公共交通の利用者は減少傾向にあり、鉄道駅の無人駅、路線バスの減便など地域公共交通を取り巻く環境は、今後益々厳しくなることが予想されます。

○勾配のある地形により、日常生活の上で徒歩による外出が負担となっている地域が存在し、また、公共交通の利用が不便な地域も存在します。

iii) 課題

○今後、尺土駅前周辺整備、（仮称）新道の駅の完成などにより、一層高まることが予想される公共交通の多種多様なニーズに対してどのように対応していくか。

○奈良県地域交通改善協議会において、奈良交通株式会社より申し入れをうけている路線について、存廃及び維持確保をどのように行っていくか。

2 目的

○これらの諸課題を解決すべく、本市における地域交通の問題を有機的に解決するために、交通事業者や市民の皆様と共に「葛城市地域公共交通活性化協議会」を組織し、市内路線バス等の活性化を通じて生活交通の維持、地域の活性化に向けて協議を行っていくこととなりました。なお、この協議会は、平成19年10月に施行された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条に基づくものとなっております。